

神谷物語

レジエント・E・0・SW

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

もし阿良々木 暦が超能力者だったら。

あんまり続く気がしない物語。

もし阿良々木 暦と齊木楠雄超能力者が

混じり合ったらどうなるか？

史上最低の超能力者の完成だ。

中の人ネタも相まってこのタイトルになった。

気分が乗らなかつたら一話で終了な。

層物語

目次

1

屑物語

僕の名前は阿良々木 曆。

中の人ネタで齊木楠雄の力を得た超能力者である。

齊木楠雄の原作ではうっとおしくてたまらない兄がいたが僕には能力未知数でうざい事もあったりするが

凄く本当に愛おしい妹二人がいる。(はあはあ……)

言っておくけど照橋まこと程酷く無いんだからな!!

齊木楠雄 本当に僕が存在していたら不愉快極まりないな

やれやれこんな奴がおんなじ能力を持つてるなんて

見るに堪えないし……塵にしても足りないぐらいに……。

だが強力な超能力に頼りきっていると

人間強度どころか人格強度も絶望的になってしまうのは

流石に嫌だから、まあ仕方なく歩いて学校に通っている。

齊木楠雄 まあそこは同感だな。

さらに見た目も気遣かってセーフティシステムも

違和感無い仕上がりになっている。

詳しくは登場人物しようかいで見てもほしい。

ちなみに眼鏡のセーフティーが強化されてる理由について

僕はこの透視能力が目覚めた時、

あらゆるものが気持ち悪く見えて仕方がなく

相当精神がまいって、できることは透視しても

問題ない漫画本を透視能力の射程を把握して

スナイパーのように見て心を潤すしかなかった。

齊木楠雄 結局エロ本か、僕にはまったく理解できないがな。

そのわずかな希望を見て僕はセーフティーの開発に乗り出した

齊木楠雄 その努力だけは賞賛してやろう。

細心の力加減、念写で精根込めて作った設計図。

苦労が何度も水の泡になったときの絶望感を

乗り越えて乗り越えて・・・普通の人間として

歩める毎日を夢見てついに

作り上げたセーフティーシステム・・・そして・・・

普通の人間のように生きていける充実感を味わい・・・

エロ本が不要な充実した毎日を送ることになった。

齊木楠雄 前言撤回だよっば死ね。

まあ裸見飽きちやっただから服を着れる程度に

眼鏡を調整できるように改造して今は

誰しもが見ているごく普通の世界が目の前に広がっている。

齊木楠雄 くやしいがその眼鏡欲しくなってきたな。

裸に興味が無いとはいえ毎日筋肉と骨の標本ばかり

見るのは僕も気が滅入るからな。

ちなみにその眼鏡は嚴重に僕のたんすの中に

セーフティーと一緒に大量に保管してある。

齊木楠雄 どんだけストックしてんだよ、

一つぐらい僕にくれてもいいんじゃないのか？

そんなこんなで毎日を送っている僕は高校生活に

意味を見いだせないでいた。

齊木楠雄 そこは同感だがお前とは死んでも友達には

なりたくないな。

友達つくと人間強度落ちるから作らないことにしている。

斉木楠雄 よかったな僕と同類じゃないか なんて絶対
言わないからな!!

そんなある日。

羽川翼と出会い、原作ではパンチラを見て

凝視したがぼつかりに会話を交わして仲良くなるという

流れだったが、一時裸を見慣れた僕からしてみれば

パンチラなんて見るに値しない……。

突然突風が吹く。

生命力あふれる胸が震えてピンク色の

色っぽいパンツが見える。

わけが無いじゃないか。

海老に衣がついて香ばしさと見た目に気品がついたように。

女子のあそこが色鮮やかな布で飾られてより一層

美しくなるなんて最高じゃないか、嫌がおうでも凝視する!!

この眼鏡のおかげでより貴重な映像に感じられて

気分が最高にHAIってやつだ!!

斉木楠雄 ドン引きだな……こんな流れで良く友達に

なろうと考えたな羽川翼、お前に勇者の称号を与えたい気分だ。

だが勘違いするなよ僕は断じて友達なんて作らない。

心の奥底の言葉なんて筒抜けだし、

本音を知れば大半の女子相手にこの 阿良々木 暦が

恋に落ちるはずは・・・。

羽川翼（でも・・・見た目悪くないし・・・馴染めそうで

優しそうな人だな・・・よしなんとしても

ともだちになろう!!きっかけは絶対大事にしなくちや。）

※本音。

ズキユン!!

強烈だ・・・。

心読めているのに何なんだこのドキドキは!!?

齐木楠雄 こうかば抜群のようだなこのヘタレが!!

阿良々木 暦はこの町に金髪の吸血鬼がいる

という噂についてふられたが頭にあまり残らなかつた。

だが、おどおどしながら思考まで使ってピンポイントで

胸の急所にクリティカルで可愛い本音をぶつけて来る
羽川翼を拒絶しきる事ができなかった。

(あつ……それなら……うん……だったらこうして……
なんかほおつとけない不思議な人だな。)

馬鹿な……この僕が……この僕が……メルアドまで
交換されておまけに思考は読めているのに……
先の先を詰め将棋のように会話で追い詰められて
友達になるだど!?

何者だ羽川翼!?

この僕を……思考すらも思いのままに読めて
妹達に騙されたふりをして優越感にひたつていた
この僕を!?

超能力者のこの僕を!?

斉木楠雄 内心凄く嬉しそうじゃないか。

だが対した奴だ……あいつには照橋さんに通ずる何かを
感じる……思考を読まれて勝つことは非常に困難だ。

将棋やボードゲーム挑んでも勝つ気がしない……。

さらに先を読んで勝ちそうな空気をただよわせているぞ
あの巨乳眼鏡美少女!!

齊木楠雄 そんなことは無い、僕だったらボロクソにして勝つ
すげえな羽川翼、会話でのおどしているにも関わらず
思考読まれてるのに切り返しがやばくて度肝を抜かれる。
思考を読んで先手取ってるつもりがいつのまにか後手に
回っついてびっくりする・・・天才か!?

まるで会話の伊藤一刀斉だぞ。
最強の誘導尋問だぞ!!

齊木楠雄 わけがわからないが原作より設定と動向が
やばくなって無いか?そこまできくと天然で念動や照橋さんを
超えた何かを感じるぞ。

帰り道超能力者という名の不審者は足を止めた。
・・・。

齊木楠雄 どうした?

色っぽいパンツ思い出したらなんかそわそわしてきた・・・
ちよつとストーリーカーして眼鏡を調整して羽川の・・・

ありとあらゆるところを……。

エロ本なんて不要だ……直に……見に行く!!

千里眼を悪用して羽川発見!!

テレポートで移動!! レッツハーリー!!

齊木楠雄 いい加減にしろこのド変態が!!

ズバン!!!

羽川自宅前で殴られた。

吹っ飛んで電信柱にひびが入る。

ちなみに羽川はお風呂。

羽川「ん? 猫が外で喧嘩でもしてるのかしら?」

面識も無い緑色の眼鏡をかけたピンク色の髪の男に

殴られてビビる阿良々木 曆。

阿良々木 曆 誰だお前は!?

齊木楠雄 やれやれ……絶対に物語に関わる気なんて

微塵もなかったんだがな僕と同じ能力でこれ以上

へドの吐きそうな凶行を行うなら今すぐ

無に帰してやる……。

本人登場。

ツツコミ卒業間近。

地球が破滅しそうなエネルギーを感じる。

阿良々木 暦 待って待って待て!!まさかお前も超能力者なのか!?

斉木楠雄 そうだが何か? 屑みたいな自分と同じ

能力者がうろうろしているのとストレスがたまつてたまつて

仕方がない・・・今すぐこの物語を終わらせてやろうか・・・?

阿良々木 暦 待って待って!!わかりました今後

こういう行動は自重しますからやめて!!

欲しい者あつたらなんでもあげますから!!

斉木楠雄 それは本当か? 本当なんだな?

斉木楠雄の顔がお化け屋敷のゾンビよりも怖い有様である。

斉木楠雄 見ている皆は同じ能力者でもこのヘタレ野郎と

僕ではどつちが勝つかは視聴者の君達の予想通りに

なることはよくわかるだろう?

じゃあ見逃してやる変わりに家にあるセーフティーセット

半分を僕によこせ。

阿良々木 暦 なんでもなんだ!? 僕が一生懸命丹精をこめて
授業中ついやしてでも苦勞していっぱい作ったのに!!

コントロールできなくなった時困らないように

たんすいっぱいになるまで高校生活3分の1を費やしたと
言つていい血と汗の結晶なんだぞ!!

齊木楠雄 授業中は自重しろ!! それはともかく

じゃあ超能力によるガチな戦いで地球が滅んでも

いいんだな、お前は無事でも地球とそれに乗っかっている妹が
無事で済む保障は無い。

冗談じゃ無いことは同じ能力者同士。

嘘じゃないことが肌でわかる。

阿良々木 暦 わかった!! わかったよ!! あげるよ!!

あげればいいんだろ!?

齊木楠雄 話がわかるようだ、よろしい自宅に失礼して

半分ほどいただくでしょう。

そのかわりお前が度を超した事をやらない限りは

絶対に出てこないと約束しよう。

阿良々木 曆 その取引僕利益率ゼロなんですけど!!

齊木楠雄 僕が襲ってこない事が最大の利益だ。

それに・・・制御装置が故障したとき、

兄貴には絶対に頼みたくないからな。

そういうと何事もなかったかのように齊木楠雄は

テレポートして帰って行った。

阿良々木 曆・・・何だったんだあいつは。

序盤にして地球ごと滅びそうな思いをした

阿良々木 曆はしょんぼりしながら自宅へ帰る。

ふざーけんなよー。

この心優しい 阿良々木 曆さんは羽川に危害なんて与えない

なんでことは皆さんがよくわかるでしょう？

それなのにあのピンキー眼鏡何なんだよ!?

齊木楠雄 この物語じやお前も眼鏡だがな。

この物語に無縁じゃなかったのか!?

展開に何の支障も与えないんじゃないのか!?

ふざけんなよー。

とぶつぶつと口も動かさずに文句垂れてるところで、

(なあ、助けてくれんかの？誰かぁ・・・。)

テレパシーで誰かのSOSが伝わる。

お人よしの僕は美人で気品あふれる声に

助けてあげようかな？どんな状況かなって

サーチしてみる。

(わし手足ちぎれてうごけんのじゃけど。)

はあああああ!?!どうやってそうなった!?!

もう千里眼で見ってしまった以上・・・助けないわけにも

行かないので渋々事故現場へレポートする。

だが原作では力の差まで感じて怖がっていた僕だが

この世界では怪異の連中なんて怖くも何とも無い

強さを誇って・・・こえええええよ!!?!

なんでグロイ光景が目の前にあるの!?!

金髪の巨乳のお嬢さんがどうして手足がちぎれてんだ!?!

どうしてこうなった!?!なぜこんなひどい目に・・・。

(血液・・・欲しいのお・・・。)

なんだ吸血鬼か・・・だからハンターにひどい目にあわされてこんなことになっているのか・・・

テレパシーのおかげで状況把握に一分もいらさない。ちなみにシャツアウトできる指輪はあるが、

困っている人を気まぐれで助けらんなくなるのでうるさいながらテレパシーはオープンにしてある。

「取り合えずうぬ一人分の血が欲しいのお・・・」

うぬの血肉が我ものになることを誇りに思え。」

馬鹿か・・・そんなことしたら僕が死ぬじゃないか。

だが僕は・・・。

無視して帰ろうとした。

焦らず冷淡に。

（おねがいじゃあああ・・・逃げんでくれえ・・・

本当に死んでしまうく自殺願望あつたけどやっぱ

死ぬのはいやじゃああああ!!）

能力上本音ただ漏れだ。

「嫌だ嫌だ嫌だよおお・・・死にたくない死にたくない

「助けてくれたらなんでも言うことききますからあ!!!」

「やれやれ・・・なおさら見捨てずらいじゃないか・・・
こんな人間見下した感拭えない奴はどうやら

思考を読む限り最強の吸血鬼みたいだが

金髪ムチムチで体も・・・容姿も・・・冷静にみれば

悪くはない・・・見捨てたら良心の呵責で死にそう。

今はこんな状態だが・・・やれやれ・・・ほら血を

わけてやるよ。

「うむ、うむは優しいのお・・・遠慮なくいただき・・・

ガブツ・・・!？」

残念だったな、原作の 阿良々木 暦は糸も簡単に

血液やエナジーを湯水のようにのまれまくっていたが

この僕は違う・・・お前の歯なんて通らないんだよ!!

はっはっはっはっは!!見下した罰だ、

どうだ!!ライオンの食事と言えば

最高級のお肉に超合金Zがコーティングされてるような

理不尽な状況は!？」

お前がいくら最強の吸血鬼でも僕は最強の超能力者、あのピンキー眼鏡さえいなければ真正銘最強の超能力者なのだ!!

お前ごときの歯が通るほどあつまい存在じゃないのさ
わっはっはっはっはっはっはっはっはっはっは!!!
だけど・・・。

「ふええん・・・いじわるう・・・おにい・・・。」
涙ぼろぼろ流して泣いてるぞこの金髪巨乳な吸血鬼。
腕を噛みながら泣いているぞなんだこの構図は。

斉木楠雄 さっきの威厳どこ行った吸血鬼。
かわいそうになってきた。

自分でやってってなんだが・・・流石に酷すぎたか・・・。

まあ、能力で一日前に戻して助けてやれんでもないが
血液あげたほうが喜びそうだから・・・どうしたものか。

取り合えず、レポートで病院の裏へ移動して

病院の裏で捨ててあった血液パックを

飲ませてあげたら回復しようだ。

背丈は十分縮んだが。

「かたじけないのお・・・わしの名前はキスシヨット・・・

※以下略、ハートアンダーブレードと呼んでくれ。」

びつくりしたよ、背が縮んで手足再生した時は。

「再生力もあんま残つとらん・・・できれば生き血が

欲しかったのお。」

贅沢言うな。

「でもこの血液なかなか甘くて美味よのお、相当な美人から

抽出でもしたのかの?」

それ糖尿病患者の血液な。

ブーーーーー!!!

吹き出した。

「何飲ませてんじやおぬしわあ?!?!」

当たり前だ、献血可能な綺麗な血液飲ませちゃったら

医療で足りなくて死者が出ちやうじやないか。

だから献血で没になった今日採取したての血液パックを

わざわざ見つけてやったんだ。

「・・・おいしいけどちよっぴり食欲失せたぞ
どうしてくれるんじや?」

何にも考えずさつきは必死にごくごく飲んでたじやないか。
献血でアウトが出た糖尿病患者と高血圧の

奴だけ選んでプレゼントしたんだありがたく思え

そいつらの健康面はアウトだが味はアウトじやないはずだ。
美味いものばかり食べてきた結果の血液はなかなか

格別なはずだが。

「悔しいが味はいいけど病気になるいそうでなんか嫌やのお。」
相当堪能してるじやないか。

ちなみの中にはタバコとエイズであからさまにひどい汚れた
血液があつたがわざわざ除けておいたんだ優しいだる僕。

「・・・気遣いは感じるがなんか嫌やのお・・・。」
文句言うな。

「だがこの幼児体型じやと吸血鬼狩りの連中に見つかつたら八つ裂きでひとたまりもないのお・・・
力がおもいつきり落ちてどうにもならんわい。」

まあ、急にグラマーお姉さんが幼女に変貌するほうが
びっくりしたが。

「テレポート使うわ血液飲ませてくれんわのういの
方がよっぽどびっくりのよ!!」

ちなみにお前を人間に変えればこのいざこざは
おさまるのか？

無駄に名前のカツコイイ変な連中が頭に浮かんだわけだが。
今の僕ならワンパンでかたがつく。

でも人殺しは好きじゃないし……。

「そんな神じみたことがお前さんにできるわけないじゃろ
お前は所詮テレポート使えるだけ、禁書目録じゃあ
主役にもなれんレベルの力しかあるまい。」

カチン!!

ほおく今なんで言った？

僕が誰だかわかっているのか？

「変態の臭いのするテレポート覗き高校生物。」

恩人に向かってひどい言い方だな!!

だいたいあつてるけどさ!!

それと僕が変態生物みたいな言い方しやがって・・・

いいだろうお前に身をもつて俺の超能力をみせてやろう。

自分の全盛期以上のヤバイオーラに思わず怯む

幼女金髪吸血鬼。

「へっ?!おぬし何やつ?!」

僕は阿良々木 暦 高校生、斉木楠雄とかいう

ピンキー緑眼鏡さえいなければ最強の超能力者だぞ・・・!!

「けけけ・・・けけ結局二番手ではないか?」

ちよつと怯えはじめた金髪幼女。

うるさい、だからこれから・・・。

阿良々木 暦の上半身の服がパージする。

背中から緑色のシツプみたいな形で張り付いていた

リミッターをサイコキネシスで全部剥ぎ取って

力を爆発させる。

「待て待て!!今の幼女のわし食べても美味しくないぞ!!」

大丈夫だ僕が造り変えてやろう・・・お前と

この世界をだ!!

「ぎいやあああああああああああああああ!!!」

頭を押さえ付けられてすぎまじい光に包まれる金髪幼女。

次の日

朝日の太陽の光を浴びながら金髪巨乳の女子高生が叫ぶ。

「わっはっはっはっは!!美しい!!ついに・・・ついに

太陽を克服したぞおおおお!!」

金髪なびかせて防御力ひっくいスカートゆらしながら

ジョジョ立ちというよりカーズ立ちでガードレールの

上でポーズを取っている金髪巨乳の元吸血鬼。

はい、そうですか。

無表情で去っていく 阿良々木 暦。

ジョジョのカーズみたいな台詞を吐きながら

元金髪吸血鬼が太陽に吠えている。

僕の背中には緑色のシップみたいなリミッターが

五枚張られている。

ちなみに一枚が斉木楠雄で言う頭の変な触覚二分の一に

匹敵する。

ちなみに僕が何をしたのか。

齊木楠雄の原作ではマインドコントロールとかいってたが完全に大規模な遺伝子操作と精神操作に近い。

何をどう変えたかって？

まず狙っていた連中の思考を大規模操作して

このハートアンダーブレードは一般人であると暗示をかけ、ハートアンダーブレード本人は吸血性と太陽に弱い

等の負の部分の遺伝子レベルで消して

現段階での彼女の肩書は七つの能力を持つ美少女

となっている。

念動力、影に入る能力、空間世界移動、再生能力

変身能力、身体能力、不死が劣化して300年生きる具合に緩和されて若さが保てて毒が通用しない。

つまりただの超能力者に落ちたのだ。

つまり原作に出てきたエピソードもドラマツルギーも

ギロチンカッターも誰もお仕事せずに帰ってしまう有様と

なったのだ。

まあ、両親はいないがあれだけ能力あれば生きていけるし無視して問題ないだろう。

傷物語で300ページ余りの物語がわずが20ページも使わないで終わりそうな有様になった。

羽川「おつはよう!! 吸血鬼でも出会ってきた?」

お前超能力者かよとこの優等生に朝早にまず突っ込みたい。特におつきくて気持ち良さそうな胸に。

齊木 楠雄 やっぱクズか。

だかもっと突っ込みたかったのは、

転校生として先ほどジョジョ立ちごっこしていたような

金髪少女が現れたのだ。

「転校生の血月 忍君だ。」

なあにやっつてんだお前は!?

僕はそんな設定にしてないだろ!?

(頭の中で大声でうるさいのお、

お前さんはこの頭に響く声自重できんのか?)

まずお前が自重しろ!!

なんでこいつ設計図に書いたように隣の席だよ何なんだ!?

「ふっふっふっふ．．．ういを甘く見すぎたの神。」

僕はそんなに偉くない。

「まず世界を書き換える時点で相当なやつよのお。」

昨日俺を殺しに来たピンキー眼鏡もできるけどな。

「何にも縛られないって素晴らしいのおく1000年

以上生きてきたがこれほど晴々とした気分は

久しぶりじゃ神。」

声優は神谷だが神じゃない。

とにかくどんな手続きふんでここに入ってきた?

「身分証の偽装がたいへんだったわい。」

まず偽装かよ。

「後は催眠能力で先生きどった後輩達の脳みそを

コントロールすれば完璧じゃ。」

先行達を後輩呼ばわりって．．．何様なんだお前は。

「七つしか能力がないとは先入観もはなはだしい、

ういはお前さん程ではないが能力はいっぱい持つておるぞ
原作者から数えるのがめんどくさいというぐらいはある。

お前さんと比べたらバイクシヨップとスーパー程の
規模の差はあるが」

羽川「あの子誰だろう・・・どうして私嫉妬してるんだろう?」

後方で委員長がやきもちを焼いている。

心の声聞いただけで萌えるからやばいな。

「ところでおぬしどんな能力持つとるのか?」
教える義理は無い。

羽川「あの・・・阿良々木くん・・・知り合いです?」

ああ、昨日糖尿病患者の血液をごくごく飲んでた変な奴だ。

羽川「!!?」

「お前が飲ましたんじゃろ!!しかもよりによって

同級生に一体どういう印象を与える気じゃ!?

ドン引きしとるじゃろ!!わしにも友達ぐらい作らせろ!!」

めんどくさいが僕以外で頼む。

「無理じゃ!!おぬしのような面白い奴友達になるなぞ無理な

話じゃ神!!」

だから神神言うな!!

羽川「ちよつとこの人成績大変そうだから放課後

勉強見てあげるから一緒に勉強よ阿良々木君

居残り追試よりマシでしょ？」

優しく言っているが 阿良々木 暦の腕を強く巨乳で腕を

掴むように引つ張る羽川翼。

「あ!!わしもついでいく!!」

あ、こら、腰のベルト引つ張るんじゃない!!

超能力者の僕に勉強は・・・必要無いってばあ!!!!!!

こうして昨日全力を出してへ口へ口の 阿良々木 暦は

二人に連行されて勉強に付き合わされた。

居残り終了後。

やれやれ、羽川と元吸血鬼との板挟みと昨日の

大規模能力解放でもうへ口へ口だ・・・帰ったら

さつさと寝て・・・。

母「親戚の事情でこの子を預かる事になったのよ、

いろいろ事情はあるみたいでね。」

そこには今朝ジョジョごっこやってた……。

「その自己紹介分いい加減やめてくれんかのお

恥ずかしくてどうにもならんわ。」

火憐「可愛い親戚のお姉さんが来たのに悪態つかないの。」

月火「そうだよ嫌われちゃうよ。」

こいつ家族手中におさめやがった!!

「うぬと暮らしたいだけなんじゃ理解してくれい。」

お前は永久誘導ミサイルか何かか?

「お願いじゃ、おぬしに拒絶されて一人で生きるのは

流石につらいから一緒に家においていいじゃろ?の?の?の?」

全部本音だから尚更達が悪い。

こんなことなら喫煙者とエイズ患者の血液パック

飲ましとくべきだったか……。

「一緒のベットで寝てやってもいいぞ神」

・・・わるくないか、お腹に生命宿してみようか?。

斉木楠雄 やっぱクズか。

こうして

原作では忍野忍だったキスショット・ハートアンダーブレード
は血月 忍という超能力者としてこの世界に

存在することとなった。

ちなみに能力は 阿良々木 暦と齊木楠雄ほどは強くない模様。